

秋夕(チュソク)期間のアフリカ豚コレラ防疫現場点検

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbWFmcmEIMkY2OCUyRjMyMTI5NCUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRnJnc0VuZGRlU3RyJTNEJTI2cm93JTNEMTAIMjZiYnNDbFNlcSUzRCUyNnNyY2hXcmQIM0QIMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNmlzVmllld01pbmUIM0RmYWxzZSUyNmJic09wZW5XcmRTZXEIM0QIMjZwYWdlJTNEMSUyNnBhc3N3b3JkJTNEJTI2c3JjaENvbHVtbiUzRCUyNg%3D%3D>

(以下、機械翻訳などによる仮訳)

□農林畜産食品部バクビョンホン食品産業政策室長は9月9日(月)、アフリカ豚コレラ(ASF)防疫推進状況を点検するために国境地域の防疫現場を視察した。

*視察場所: 抱川市(ポチョンシ)の防疫対策室、鉄原郡(チョルウォンゲン)の民間人出入統制線制御所、消毒設備、野生いのしし捕獲わな設置場所

○台風13号(アジア名:レンレン)の発生と秋夕(チュソク:韓国の祝日)連休期間における車両の移動増加によって家畜伝染病の伝播リスクが高まり、ASF侵入防止のため徹底した防疫管理が不可欠となるとの判断により、今回の視察が実施された。

○食品産業政策室長は、抱川市役所防疫対策室などを訪問し、防疫関係者を労うとともに、台風に伴う家畜疾病の発生を防止するために、畜産農家の一斉消毒と小規模農家を対象とした石灰散布等、防疫管理を徹底することを要請した。

○また、民間人出入統制線制御所(鉄原郡)の野生いのしし捕獲わな設置場所を訪問し、ASF予防のためには野生いのししの管理が重要であることを強調し、死亡いのしし監視システムの強化やフェンス等の野生いのしし侵入防止設備を整えることを要請した。

□併せて、食品産業政策室長は、ASF防止のため、養豚関係者はASF発生国の訪問を自制し、消毒を徹底し、海外から畜産物を持ち込まず、海外旅行から帰国した者は国内の農場訪問を自制するなど、防疫上の注意事項を遵守するよう要請した。